

学年・教科・担当者	3 年 数学A 篠田 徹
-----------	--------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	1章 文字式を使って説明しよう 1 多項式の計算	○単項式と多項式の乗法の計算ができる。 ○乗法公式を見だしそれを利用して展開できる。 ○乗法公式を利用していろいろな式をくふうして展開できる。
	5	2 因数分解 3 式の計算の利用	○因数分解ができる。 ○乗法公式を利用して因数分解ができる。 ○数の計算や式による証明に展開や因数分解を利用することができる。
	6	3章 方程式を利用して問題を解決しよう 1 2次方程式のその解き方	○2 次方程式やその解について理解する。 ○平方根の考え方を利用して解くことができる。 ○解の公式を利用して解くことができる。
	7	2 2次方程式の利用	○因数分解を利用して解くことができる。 ○いろいろな問題を 2 次方程式を利用して解くことができる。
	9	4章 関数の世界をひろげよう 1 関数 $y=ax$ の2乗	○2乗に比例することの意味を理解する。 ○式に表す。 ○ $y=ax$ 2乗の式を求める。 ○ $y=ax$ 2乗のグラフを書き、その特徴を理解する。
2	10	2 関数 $y=ax$ の 2 乗の性質と調べ方	○関数 $y=ax$ 2乗の値の増減や変化の割合を求める。 ○一次関数と特徴を比較する。
	11	3 いろいろな関数の利用	○身の回りの問題を関数 $y=ax$ の2乗を利用して解決することができる。
	12	8章 集団全体の傾向を推測しよう 1 標本調査	○身の回りで行われている調査には標本調査と全数調査があることを知り、必要性和意味を理解する。 ○標本調査では、標本を無作為に抽出する必要があることを知る。 ○身の回りの問題を標本調査を利用して解決することができる。 ○標本調査を利用して母集団全体の数量を推測することができる。
3	1		
	2	2 復習、演習	
	3		

評価について	
評価の観点	評価の方法
① 知識・技能 (数式や図形などの用語や性質が分かり、数学の約束にしたがって数学的な表現や処理ができる)	ノート、定期テスト、小テスト など
② 思考・判断・表現 (数学的なアイデアや理論を大切に、問題を解くことができる)	ノート、定期テスト、小テスト、課題 など
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業中の取組、小テスト、課題 など

学年・教科・担当者	3 年 数学 B	田中 誠
-----------	----------	------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	2章 数の世界をさらに広げよう 1 平方根	○平方根の意味を理解し、ある数の平方根を求めることができる。 ○素因数分解ができ、それを利用してある数の平方根を求めることができる。 ○平方根の乗法、除法、加法、減法ができる。
	5	2 根号をふくむ式の計算 3 平方根の利用	○分数を有理化することの意味を知り、有理化することができる。
	6	5章 形に着目して図形の性質を調べよう 1 相似な図形	○図形の相似の意味と表し方を知る。 ○相似な図形の性質を確認する。 ○相似比の意味を知り、相似比を求めることができる。
	7	2 平行線と比	○相似な図形の辺の長さを辺の比を利用して求めることができる。 ○三角形と辺の比を利用して、線分の長さを求めることができる。 ○平行線と比の定理を利用して、線分の長さを求めることができる。
	9	3 相似な図形の面積と体積 6章 円の性質を見つけて証明しよう 1 円周角の定理	○相似な図形の面積比や体積比を理解し、求めることができる。 ○円周角の意味を理解し、円周角の定理を利用して角の大きさを求めることができる。
	10	2 円周角の定理の利用	○円周角の定理の逆を理解する。
	11		○円周角の定理を利用して、作図の方法や図形の性質を考察できる。
	12	7章 三平方の定理を活用しよう 1 三平方の定理	○三平方の定理を理解し、利用して直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ○三平方の定理の逆を理解する。
	1		○三平方の定理を利用して、直方体の対角線の長さや、円錐、角錐の高さを求めることができる。
	2	2 三平方の定理の利用	○学んだ図形の性質を利用し、問題を解決できる。
	3	演習	

評価について	
評価の観点	評価の方法
④ 知識・技能 (数式や図形などの用語や性質が分かり、数学の約束にしたがって数学的な表現や処理ができる)	ノート、定期テスト、小テスト など
⑤ 思考・判断・表現 (数学的なアイデアや理論を大切に、問題を解くことができる)	ノート、定期テスト、小テスト、課題 など
⑥ 主体的に学習に取り組む態度	授業中の取組、小テスト、課題 など